

# 公益財団法人 J K A 競輪とオートレースの補助事業について

整理番号 2021P-125  
補助事業名 2021年度 障害者グループホームの建築 補助事業  
補助事業者名 社会福祉法人まどか

## 1 補助事業の概要

### (1) 事業の目的

#### <社会的課題の現状>

北九州市の精神科病院に1年以上入院している長期入院者は2,258人（全入院者中63.5%、平成28年）と多く、地域移行が進んでいない。受け皿となるグループホームも平成30年度1,243人、令和元年度1,367人、令和2年度1,504人としている市の計画は、平成30年度末1,197人と計画達成に至っていない。事業の難しさと経営メリットが少ないことも整備の進まない原因であると思われるが、最大の問題は地域住民の精神障害者に対する理解が十分でないことで、親と同居しても住みづらさのゆえに再入院者が多くいるのが現状である。

#### <まどかが目指す姿>

1. 行政課題となっている精神障害者の地域移行に寄与する。
2. 施設を「終の棲家」とはせず、可能な限り自立した生活を目指す。
3. 地域住民の精神障害者に対する理解が得られないのは、接する機会の少なさが一因であり、市街地に整備し、障害者が地域住民の中で生活することが理解を得る早道となる。
4. 病院と連携し、服薬をコントロールできれば、地域でともに住めることを証明し、皆に知ってもらいたい。
5. 将来的には、若松区の在宅精神障害者の数少ない福祉拠点として機能していきたい。

#### <補助事業の具体的な目的>

1. 長期入院を強いられている人達の受け皿となり、より人間らしく、自ら望む自立した生活を支援する。
2. 親の高齢化等により家族と暮らすことが難しくなった在宅障害者（精神、知的）の、より自立した生活を支援する。
3. 施設のステップアップ機能を活用し、より自立した生活獲得への誘導と支援を行う。
4. 地域住民の精神障害者に対する理解を促進する。
5. 施設規模拡大による法人の安定的経営を実現し、将来発展の推進力とする。

## (2) 実施内容

精神障害者、知的障害者向けグループホームの新築

鉄骨造2階建、建築面積 133.76m<sup>2</sup>、延床面積 267.52m<sup>2</sup>

定員7名

全室個室（台所、風呂、トイレ、洗濯場付）

1階共有スペースには食堂・リビングを設け、行事や話し合いの場などのコミュニケーションの場としても利用できるようにした。



建物外観



標識表示と表札



居室



台所



ユニットバス



1階食堂にて集い

## <障害者グループホーム新築により得られた成果>

- ① 現在、精神科病院に入院している精神障害者の中には退院して地域で生活できる状態であるにも関わらず、精神障害者に対する理解が十分でない事や親の高齢化などで受け入れ先がないために、長期入院を強いられている人が多くいる。グループホームが増設(7部屋)された事により、これらの人達の地域移行を促進させることができる。
- ② 市内のグループホームが民間アパートを利用したものが多い中で、新築で、しかも共同生活型ではなく、生活機器を備えた自立生活型のグループホームは精神障害者のニーズに応えるものであり、完全自立への希望を持たせるものである。
- ③ 北九州市内のグループホーム数は十分とは言えない状態であり、本施設の整備は、市の精神障害者福祉に寄与するものである。

## <JK A補助事業としての効果>

- ① 施設整備の公的助成のない中で、財政基盤の脆弱な小規模の社会福祉法人では新規施設は夢のまた夢であるが、JK Aの補助のお陰で夢を実現できたことで、職員以下やる気を起している。
- ② 新施設の内覧会や見学会の際、財源を聞かれ、JK A補助によることを説明している。
- ③ チラシを作成し、近隣へのポスティング、関係者への郵送を行っており、市内の障害者団体の会合の席でPRしている。

## 2 予想される事業実施効果

- (1) 市内のグループホームの不足があるため、今後も入所の問い合わせや入所する事で、障害者の自立に向けての意欲向上や実際のステップアップが期待できる。
- (2) 本施設は住宅地の中にあり、入所後の事業推進や障害者とのふれあい等により、地域住民の方達の精神障害者に対する理解が深まる事が期待できる。
- (3) 施設規模拡大により、法人の財政基盤が強化され、次なる事業展開へと繋がり、地域福祉の向上に寄与できる。

## 3 補助事業に係わる成果物

### 本事業に係わる印刷物等

### グループホームさくらⅢ パンフレット

<2021年度オートレース補助物件>  
**グループホームさくらⅢ**  
 指定障害福祉サービス事業（共同生活援助）

2021年度オートレース補助事業として  
**2022年4月 完成！！**

グループホームさくらⅢ 定員4名  
 グループホームさくらⅡ 定員7名

～ 住みよい街 わかまつ ～

2012年からこの街でグループホームを運営して10年  
 今までに20名の人たちが生活してきました  
 現在11名入所中

<通所施設>  
 ●地域活動支援センター まどか  
 ●小規模作業所 キッチンハーモニー

お問い合わせ先：社会福祉法人 まどか 〒808-0013 北九州市若松区渡打町 6-12  
 TEL/FAX 093-771-1945

グループホームさくらⅢ

☆完全個室  
 ・簡易キッチン、ユニットバス、トイレ付  
 ・冷蔵庫、洗濯機、テレビ、エアコン、料コンロ備え付け  
 ☆1Fには、みんなで集うことができる共有スペースがあります

<利用料概算>

◆家賃	29,000円	
◆共益費・管理費	9,000円	
◆光熱費	9,000円	程度(実費)
◆消耗品費	1,500円	程度(実費)
合計	48,500円	程度

※食費は実費となります。  
 【昼 430円、暮 500円、夕 530円】

※家賃は特定障害者特定給付金制度適用により10,000円負担軽減を受けることができます。

<アクセス>

- 市営バス 楽通川バス停 徒歩 2分
- ワルシヨク 徒歩 5分
- ファミリーマート 徒歩 3分
- スズキ 徒歩 3分
- 若松区役所 徒歩 7分
- JR若松駅 市営バス 30分
- 戸畑駅 市営バス 20分

グループホームさくらⅢ  
 〒808-0013 北九州市若松区渡打町 6-8